

**こころの健康とくらしを支える
～連携にもとづく支援と地域づくり～**



**H28.8.8オープンキャンパス
13時15分～14時**



**県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科
越智 あゆみ**





今日の授業の概要



- ★ 学校や仕事，食事，買い物，電車での移動……。 大きなストレスに直面すると，普段は当たり前に行えていることに難しさが生じることがあります。
- ★ こころの健康を保ち，日々のくらしを支える支援とは，どのようなものでしょうか。
- ★ 支援者間の連携にもとづく支援と，地域の中でお互いに支え合える関係づくりや相談しやすい仕組みづくりをどう進めていくか，具体的な事例をもとに考えます。

「社会福祉学を学ぼう」

多様な学びを深める!

講義

特定の事象をめぐる個人と社会の連関を分析・説明する洞察力や、課題を発見し、問題解決への思考力を培います。

〈難民〉



「ドイツはシリア難民をたくさん受け入れたのに、日本は数人しか認めなかった」と先生が言ってたよ。同じ地球に生きていて、日本がやれることって何だろう?

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) から要請が来てるみたいだね。難民の認定には課題も多いけど、多様な価値を受け入れる社会になってほしいなあ

あなたならどうする?

同性愛カップルの結婚を法的に認める国が増加傾向にあることを調べようと思ってるんだ。いろいろな生き方があると思うから

演習

少人数で討論して事例検討やロール支援の在り方を学ぶ

〈性的マイノリティ〉



いろいろな生き方があるいいけど、どこか他人事の気がするよ。なぜ性の多様性が認められず、少数者として差別されてきたのか。歴史をたどりながら、差別する側を問う視点が必要なんじゃないかな

法学

心理学

経済学

保健学

社会福祉学

隣接科学と連携しながら学ぶ

教育学

医学

社会学

卒業論文/卒業研究

文献研究や調査によって特定のテーマに関する実態の把握や分析を行い、論文にまとめます。

〈災害〉



支援の仕組みを

机の上の学びだけでなく、体験型、参加型学習で学ぶ

実習/フィールドワーク

福祉機関・福祉施設をはじめ、NPOやNGO、被災地や過疎地、海外などに行き、現場のニーズを体得しながら、対応力を身につけます。

〈貧困〉



実習先の施設で、

日本社会福祉学会作成のパンフレット



「あなたならどうする？」という 問いかけから、学びを深めます



- ★ 学校や仕事，食事，買い物，電車での移動・・・。
大きなストレスに直面すると，普段は当たり前に
できていることに難しさが生じることがあります。

◆あなた自身が直面する可能性のある「大きな
ストレス」には，どのようなものがあるでしょう？

◆あなた自身が「普段は当たり前にできているこ
とに難しさが生じる」状況になった時，どう感じ，
どう行動するのでしょうか？

事例をもとに、 想像してみましょう

- ◆ ある日、**交通事故**に遭い、救急車で運ばれました。
- ◆ 病院での治療により、一命をとりとめることができました。
- ◆ 事故を機に、**本人も家族も、様々な課題に直面**することになりました。



事例をもとに、 想像してみましょう

◆ 数か月間の入院。働けないため、収入がなくなることに…。



◆ 高額な医療費の請求…。家計に余裕はなく、払えそうにありません…。



◆ 本人も家族も、受け止めきれずに混乱…。家族関係も難しくなり…。





大きなストレスには、誰でも 直面する可能性があります



◆事例にある「交通事故」がどれほど身近なものか、統計資料で確認してみると…

★「平成27年中における交通事故の発生状況」より

◆発生件数：53万6899件 (警察庁作成)

◆死傷者数：67万0140人
(うち、死者4117人、重傷者3万8959人)

◆交通事故以外で、誰でも直面する可能性のある「大きなストレス」の例を、書き出してみましょ

事例をもとに、 想像してみましょう

◆ 退院し、自宅に戻ることに。
以前と異なる生活に、本人
も家族も不安でいっぱい…。



◆ 夫婦は共働き。日中の食事
はどうする？電車に乗れず
に、どうやって移動する？



◆ これからの生活を考えると、本人も家族も心配で
たまりません…。



“ソーシャルワーカー”とは

様々な生活上の困難を抱えた人に対して
相談援助を行う専門職です。

★ 病気や障害，失業などの生活上の困難は，誰でも直面する可能性があるものです。



★ ソーシャルワーカーは，困難を抱えた本人やその家族から話を聴き，**本人と家族の生活を支える支援**をしていきます。



★ ソーシャルワーカーの国家資格に，“**社会福祉士**”と“**精神保健福祉士**”があります。



事例をもとに、ソーシャルワーカー としてできることを考えます



◆あなたが、普段は当たり前前にできていることに難しさが生じる状況になったら、どう感じるでしょうか？

◆あなたがソーシャルワーカーなら、どのように本人と家族の支援に取り組むでしょうか？

ソーシャルワーカーによる支援

本人・家族に必要なとなる**制度・サービス**の活用や、**連携・調整**を図ります。

例えば

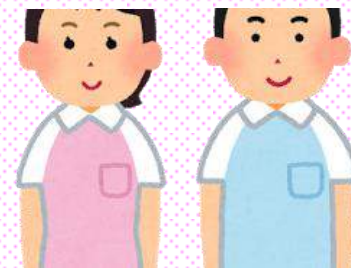
◆ **経済的な課題**には…

出費を抑えたり、必要な費用を受け取れる**制度の活用**を支援します。



◆ **看病や介護**の課題には…

ホームヘルパーなどの**サービス**を利用できるように、支援します。



◆ **退院後のよき生活**のために…

地域の中で**孤立を防ぐつながり作り**や、**関係機関が連携**して支援できる仕組み作りを進めます。



実際の授業で行っている 事例検討の様子



ワークショップ形式での授業の様子



実際の授業で行っている ワークショップの内容

(3年次前期「精神保健福祉論Ⅲ」)

★テーマ★

B精神科病院に入院しているAさんに対して、K精神保健福祉士が他職種や関係機関と連携してどのように支援していくか、ワークショップ形式で検討する。

★プロセス★

- ①班分け
- ②班机を作って、模造紙・付箋・筆記用具を準備。
- ③リーダーと発表者を決める。
- ④自由にアイデアを出す →付箋に書いていく。
- ⑤似ている付箋を近くに集め、タイトルを付ける。
- ⑥ ⑤を整理しながら意見交換し、模造紙に整理。
- ⑦ ≪グループ発表≫ (⑤、⑥を発表)



実際の授業で行っている

ワークショップ形式での事例検討

(3年次前期「精神保健福祉論Ⅲ」)

事例は、『精神保健福祉援助演習(基礎・専門)』の教科書から。

1. Aさんの思い・ニーズを書き出し、整理する。
2. 1をもとに、Aさんや各職種・関係機関とともに支援目標を定め、共有する。
3. 1・2をもとに、各職種・関係機関が取り組むことのできる支援内容を書き出す。

※授業で学んだ制度的支援に限らず、自由な発想で。

4. 1～3の中で、A精神保健福祉士が果たす役割や、大事にしたい着眼点や観点を書き出す。

精神保健福祉士とは？



資格

精神保健福祉領域のソーシャルワーカーの**国家資格**。

仕事

精神疾患やメンタル面の課題を抱えている人の「**暮らし**」をサポート。

学ぶ

相談援助(ソーシャルワーク)をはじめ、関連する法律や支援システムを学び、現場実習も行う。

未来

認知症やうつ病などの増加に伴い、医療・保健・福祉にまたがる専門職として、**期待が高まっている。**

精神保健福祉士 養成課程での学びの特徴①

★ アクティブ・ラーニング（能動的学修）の 積極的導入



グループ発表の様子

事例検討で作成した模造紙



連携にもとづく支援を、実践的に学ぶ

★ 4年次の保健福祉学部5学科必修科目
「チーム医療福祉演習」では、他の学科の
学生とともに“連携”について学びます。



チーム医療福祉演習での
デモンストレーションの様子

“チーム医療”とは？



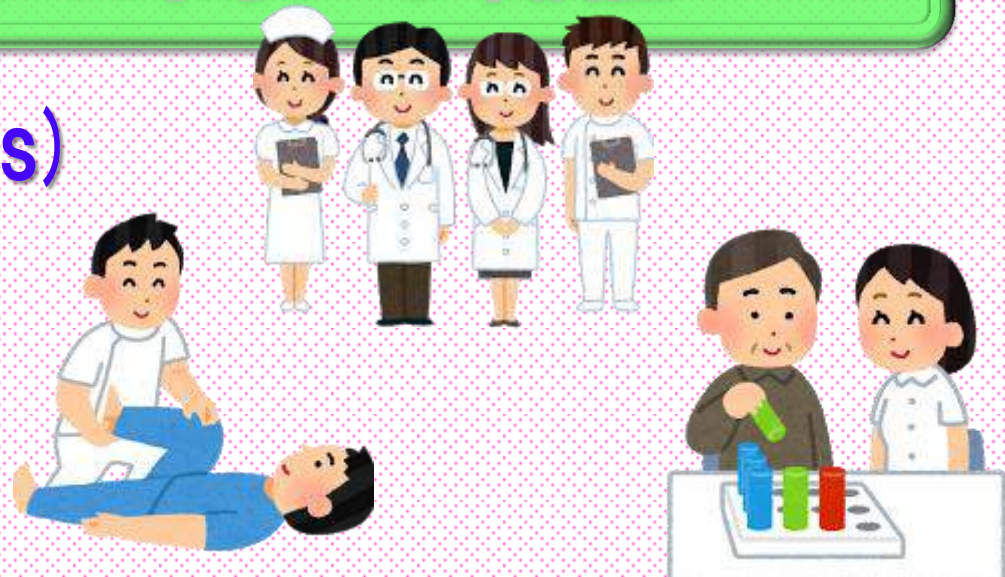
- ★ 一人の患者に複数のメディカルスタッフ(医療専門職)が連携して、治療やケアに当たることです。
- ★ 病院では、様々な職種のメディカルスタッフが働いています。異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することで、入院中や外来通院中の患者の生活の質(QOL)の維持・向上、患者の人生観を尊重した療養の実現をサポートしています。チーム医療では、患者本人と家族も、チームのメンバーです。

“チーム医療”に関わる職種

★ 医師(Dr), 看護師(Ns)

★ 理学療法士(PT),
作業療法士(OT),
言語聴覚士(ST)

★ 医療ソーシャルワーカー(MSW) などなど



“ソーシャルワーカー”は、様々な生活上の困難を抱えた人に対して相談援助を行う専門職です。病院をはじめとする保健医療分野で働くソーシャルワーカーを、“医療ソーシャルワーカー” (Medical Social Worker : MSW) と呼びます。



ソーシャルワーカーによる面接

ソーシャルワーカーは、患者や家族にどのような支援が必要かを考えていくために、**面接**を行います。

面接で聞き取る内容の一部を紹介すると…

(1) 生活歴・病歴

本人や家族のこれまでの生活状況や、病気の発症によって生活がどのように変化したか、など

(2) 経済状況

医療費を負担できるか、病気による家計への影響（例：生活費、子どもの教育費、住宅ローン）、など

「チーム医療福祉演習」では、学生がソーシャルワーカー役と患者役になって、実演します。

ソーシャルワーカーによる面接

(3) 家族状況

家族構成、家族内の役割(例:一家の大黒柱としての役割、主婦・母親としての役割)、家族関係の変化など

(4) 本人の希望

現在の状況をどのように受け止めているか、不安や悩み、これからどのような生活をしていきたいか、など

(5) 家族の思い

現在の状況をどのように受け止めているか、不安や悩み、これからどのような生活をしていきたいか、など

(6) インフォーマル支援

本人をサポートできる親族や友人、同僚等の状況など

(1年次前期5学科共通科目「関係法規」)

ソーシャルワーカーが社会保障・ 社会福祉制度に「つなぐ」支援の例

<例1>「障害で働けなくなり、生活費に困っている」という相談に対して、「障害年金」の受給を申請する。

<例2>個々の相談に対応可能な制度(例:医療費の自己負担を軽減する「高額療養費制度」、障害者手帳取得による各種減免制度、...)の利用を支援する。

ポイント

- ★ 病気や障害のために働けなくなる、高額な医療費や機器が必要になるなど、経済的問題をはじめとする **生活問題は、誰にでも起こりうるもの。**
- ★ 日本の制度は「**申請主義**」が原則。相談して初めて、自分が利用可能な制度・サービスを知る人も多い。

(1年次前期5学科共通科目「関係法規」)

ソーシャルワーカーが関係機関・ 人材に「つなぐ」支援の例

<例1> 病院に長期間入院していた人が退院する時に、地域生活を支える機関や人(例: 社会福祉協議会、介護支援専門員)を紹介し、つなげる。

<例2> 地域の中で孤立しがちな人を、地域内の当事者の会につなげたり、他の関係機関からも支援が受けられるようにつなげる。

ポイント

- ★ キーワードは、「**連携**」と「**調整(コーディネート)**」。
- ★ 個人と機関・人材をつなぐだけでなく、関係機関や人材の間をつなぎ、**ネットワーク**をつくることも大切な仕事。 **※相談室の中だけの仕事ではない。**



こころの健康とくらしを支える ～連携にもとづく支援と地域づくり～



- ★ ソーシャルワーカーは、支援者間の連携にもとづく支援と、地域の中でお互いに支え合える関係づくりや相談しやすい仕組みづくりを進めます。
- ★ ストレスを抱えて悩む人が増える中、多くの人にこころの健康について関心をもってもらい、相談することの大切さに気づいてもらうことは、特に、精神保健福祉領域で働くソーシャルワーカーの大切な役割です。
- ★ 地域に出向いて住民を対象とした学習会を開催するなど、普及啓発にも取り組んでいます。

精神保健福祉士 養成課程での学びの特徴②

★ 伝わりやすく、関心を持ってもらえる“プレゼンテーション”を体験的に学び合う機会。



プレゼンテーションの準備の様子

(4年次通年「精神保健福祉現場実習指導Ⅲ」)

こころの健康に関する 学生プレゼンテーションについて

- ★ このプレゼンテーションは、精神保健福祉士養成課程の専門授業の中で、4年生が小グループに分かれて議論しながらテーマを定め、作成したものです。
- ★ 多くの人にこころの健康について関心をもってもらい、相談することの大切さに気づいてもらうことは、精神保健福祉士の大切な役割です。
- ★ 学生自身が、何をねらいとして、どんな思いを込めて作成したのかを紹介しながら、学修成果を報告します。





全4巻の内容

学科ホームページで公開中!

vol.1

こころの病と精神保健福祉士
～誰にでも起こりうる病気とその対処のしかた～



vol.2

自分を大切にすることとは?
～周りの人からどう思われているかが気になる高校生を例に～

vol.3

強迫性障害とうつ病
～性格の問題と間違われやすいこころの病を理解するために～

vol.4

精神保健福祉士による普及啓発活動の具体例
～地域でのごく当たり前の生活の実現を目指して～

授業で作成した動画

vol.1

こころの病と精神保健福祉士 ～誰にでも起こりうる病気とその対処のしかた～

うつ病



きっかけ

- 10歳代・・・進学、両親の不和、転校、友人関係
- 20～30歳代・・・就職、失恋、結婚、出産、
引っ越し、転勤
- 40～50歳代・・・失業、病気・ケガ、昇進、
家族や友人の死、更年期、
子どもの結婚
- 60歳代・・・退職、病気・介護、配偶者の死

ひとりで悩まず、相談を！！

- ◎自分がこころの病になったとき
病院に行き、休養や服薬をする
早めに対処すれば、早めに回復できる
- ◎周りの人がこころの病になったとき
休養と治療を勧める
相談や受診に付き添う



医師や精神保健福祉士などに相談してみましよう

授業で作成した動画

vol.3

強迫性障害とうつ病

～性格の問題と間違われやすいところの病を理解するために～

強迫性障害について

どんな症状がある？

- ①体にばい菌がついているように思えてしかたない
⇒ (例) 何十分も手洗いを続ける
- ②戸締りやガスの元栓が閉めたか気になる
⇒ (例) 家を出た後に何度も確認に戻る
- ③ノートの文字がきちんと書けたか気になる
⇒ (例) 書いたり消したりを何度も繰り返す



うつ病について

どんな症状がある？

- ①落ち込んだ気分が続く
- ②何事にも興味が持てず、何をしても楽しくない
- ③眠れない (時には寝すぎる)



授業で作成した動画

vol.4

精神保健福祉士による普及啓発活動の具体例 ～地域でのごく当たり前の生活の実現を目指して～



2016年度作成版の内容

夏休み中には学科ホームページに掲載予定！

vol.5

チームアプローチって何だろう？
～それぞれの職種の大切さ～

vol.6

うつってなんだろう？
～現代社会を生きるあなたへ～

vol.7

アルコール依存症ってどんな病気？

vol.8

もう食べない！？
～摂食障害のおはなし～



地域での研修会の具体例



「こころの健康づくり」に関しては、普段の生活の中でできることがたくさんあります。「食事」は、不調に気づく重要なチェックポイントの一つです。不調は誰にでも起こるもの。早く気づいて対処することが、こころの病気の予防にもつながります。今日は、こころの健康に関して知っておきたい知識を確認し、普段の生活の中でできることを学んでいきます。

＜研修会の流れ＞

- ◆こころの健康に関して知っておきたい知識を確認します。
- ◆自分自身や身近な人の不調に気づいた時の対応のポイントを学びます。



普段の生活の中でできる こころの健康づくりのポイント



こころの健康状態の変化に、自分自身や周囲が早く気づき、それを抱え込まずに早めに相談すること。

そのために、大事にしたいことは…

- ◆こころの健康状態の変化のきっかけは、誰にでも起こる様々な生活経験。自分自身にも、身近な人(家族、友人、近所の人など)にも起こり得る課題だと認識すること。
- ◆こころの健康に関する知識を、再度確認しておくこと。
- ◆変化に気づいた時には、早めに相談すること。相談を受けた時には、「傾聴」を心がけること。

普段の生活の中でできるこころの健康づくりに関して、最も身近な話題です。様々なこころの病気とも共通点が多くあるので、今日は“うつ病”を中心に取り上げます。

“うつ病”について、ご存知ですか？

－ 持っておきたい正しい知識 －

＜主な参考資料＞（HPから入手可能）

- ◆地域におけるうつ対策検討会報告書（2002）『うつ対策推進方策マニュアル－都道府県・市町村職員のために－』
- ◆地域におけるうつ対策検討会報告書（2002）『うつ対応マニュアル－保健医療従事者のために－』
- ◆「自殺対策支援センター ライフリンク」ホームページ

正しいのは、どちらでしょうか？

解答欄

① ストレスが続くと...

- A だれでもうつ病になりうる
- B 弱い人だけがうつ病になる

② 一生のうちうつ病になる頻度は、わが国では...

- A 約15人に1人と考えられている
- B 約150人に1人と考えられている

③ うつ病の時には...

- A 抑うつ気分、意欲の低下などの精神症状のみがでる
- B これらのほかに、不眠や頭重感、倦怠感などの症状を伴うことが多い

④ うつ病や抑うつ状態になったら...

- A 病気に打ち克つために、より一層頑張らないといけない
- B ゆっくり休み、専門医(精神科医)と相談した方がよい

正しいのは、どちらでしょうか？

解答欄

⑤うつ病を治療せずに放っておくと…

- A 重症化することもある
- B ほとんどは自然に治る

⑥うつ病は誰にでもかかるもので…

- A 早期に気づいて治療すると良くなる
- B 治療に反応しにくい

⑦うつ病の人の多くは…

- A 症状で悩んでいても病気であると気づかなかつたりして、医療機関を受診していない
- B 医療機関で適切な治療を受けている



正しい知識を持ちましょう

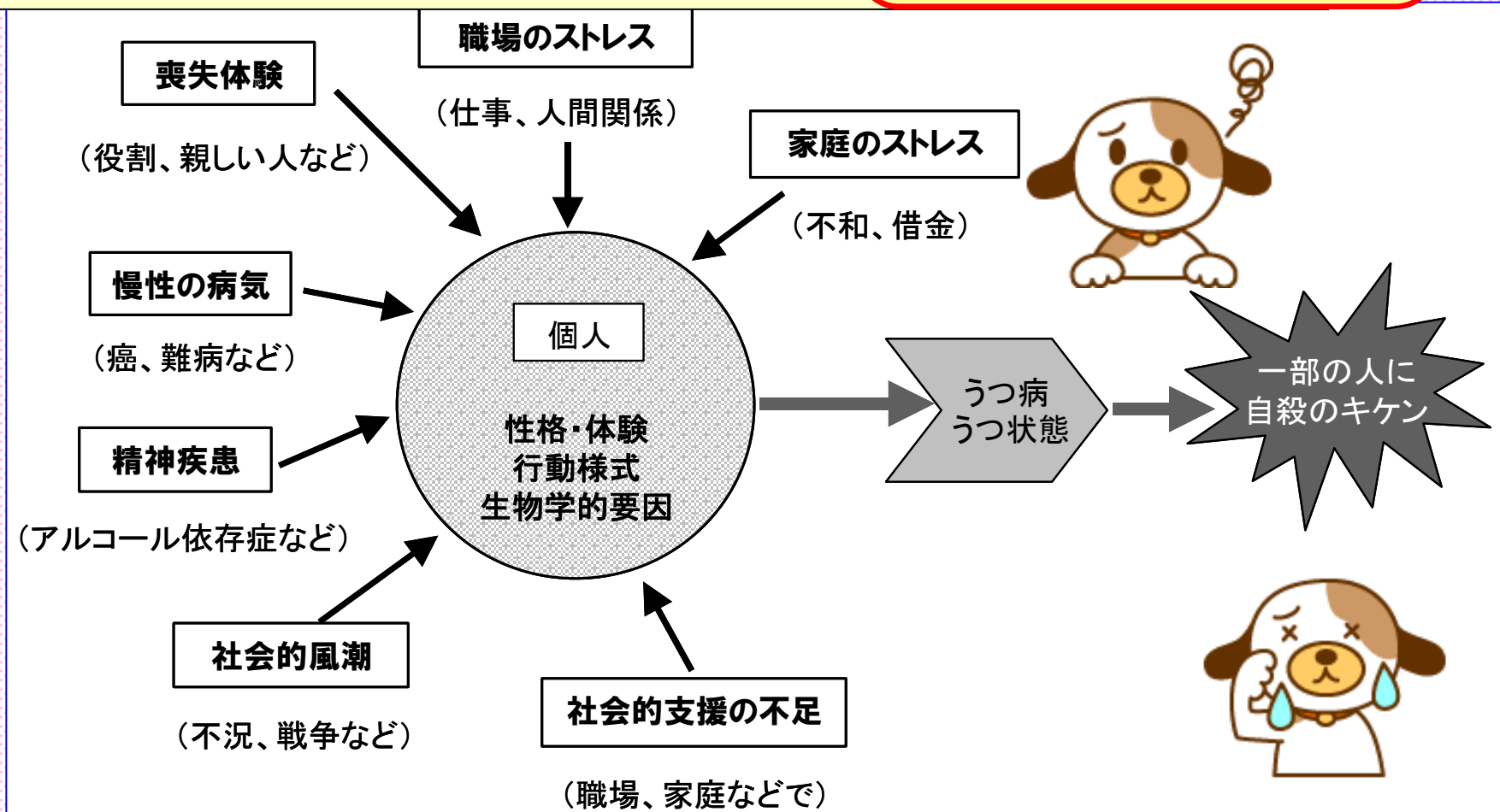


① ストレスが続くと...

- A だれでもうつ病になりうる
- B 弱い人だけがうつ病になる

正解

様々な生活体験が、
うつ病のきっかけになります。





正しい知識を持ちましょう

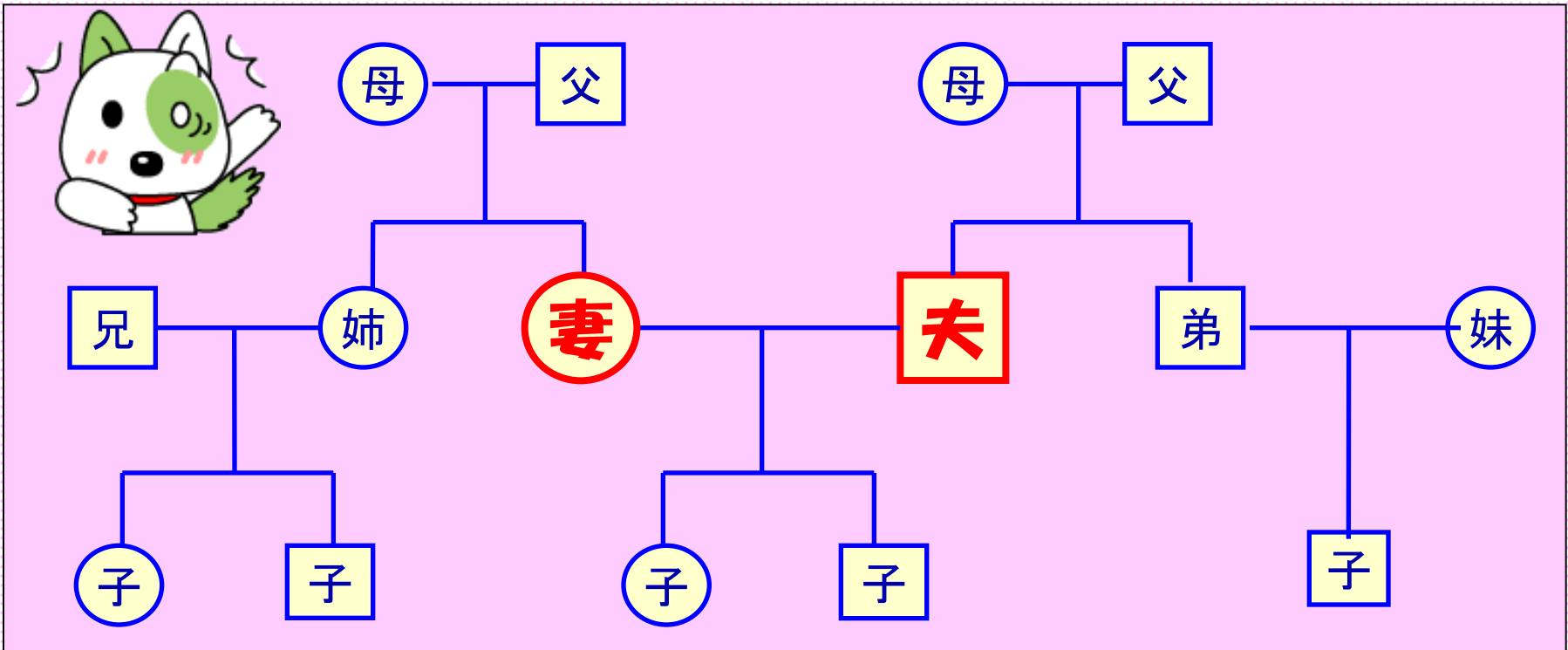


②一生のうちうつ病になる頻度は、わが国では…

- A 約15人に1人と考えられている **正解**
- B 約150人に1人と考えられている

親族にあてはめて、**15人**となると…

※「6～7人に1人」という報告もあります。



★誰でも、また身近な人もなりうる可能性の高い病気です★



正しい知識を持ちましょう



③うつ病の時には・・・

A 抑うつ気分、意欲の低下などの精神症状のみがでる

B これらのほかに、不眠や頭重感、倦怠感などの症状を伴うことが多い **正解**

うつ病を疑うサインは・・・


- (1) 悲しい、憂うつな気分、沈んだ気分
- (2) 何事にも興味がわかず、楽しくない
- (3) 疲れやすく、元気がない(だるい)
- (4) 気力、意欲、集中力の低下を自覚する(おっくう)
- (5) 寝つきが悪くて、朝早く目がさめる
- (6) 食欲がなくなる
- (7) 人に会いたくなくなる
- (8) 夕方より朝方の方が気分、体調が悪い
- (9) 心配事が頭から離れず、考えが堂々めぐりする
- (10) 失敗や悲しみ、失望から立ち直れない
- (11) 自分を責め、自分は価値がないと感じる



“**食欲**”
は要千
エック!

正しい知識を持ちましょう

うつ病を疑うサインー周囲が気づく変化ー

- 
- (1) 以前と比べて表情が暗く、元気がない
 - (2) 体調不良の訴え(身体の痛みや倦怠感)が多くなる
 - (3) 仕事や家事の能率が低下、ミスが増える
 - (4) 周囲との交流を避けるようになる
 - (5) 遅刻、早退、欠勤(欠席)が増加する
 - (6) 趣味やスポーツ、外出をしなくなる
 - (7) 飲酒量が増える など



正しい知識を持ちましょう

④うつ病や抑うつ状態になったら・・・

A 病気に打ち克つために、より一層頑張らないといけない

Ⓐ ゆっくり休み、専門医(精神科医)と相談した方がよい

正解

うつ病が疑われるときの対処のポイント

◆まずは、ゆっくり話を聴く。(“**傾聴**”が基本)

◆「うつ病」についての正確な情報と、**「休養と治療で楽になる可能性が高い病気である」**ことを伝え、受診を勧める。

★まずは“**傾聴**”を心がけることが大切です。★





“傾聴”とは

自分の考えや価値観にとらわれず
に，相手の言うことを素直に受け入れ，注意深く聴く



○ 「聞く」「訊く」との違い

- ◆ 「聞く」：音や音楽，言葉がただなんとなく「聞こえている」，「耳に入っている」というような受動的な聞き取り。
- ◆ 「訊く」：自分の考えや価値観を基礎にして，様々な事柄を尋ねていく。



「聴くこと」の力

「人間にとって一番ひどい病気は、誰からも必要とされていないと、自分で思い込んでしまうことです」 (マザー・テレサ)



- ◆「自分の存在を認めてほしい」、「受け入れてほしい」と思うのは、人間としての基本的な欲求。
- ◆きちんと向き合って話を聞いてもらえると、「自分のことをわかってもらえた」、「受け入れてくれた」、「自分は大切に扱われている」という実感につながる。



「聴くこと」自体が「心の援助」になる



「秘密を守ること」と 「抱え込まないこと」



「聞いたことはみだりに他人に話さない」ということが大原則。

ただし・・・

「自分の手に負えない」と感じた時には、その気持ちを本人に伝え、**了解を得て**、適切な人や機関に相談をする。

相談を受けた人が一人で抱え込むことは、相談者にも、相談を受けた人にもマイナスになることも。

精神保健福祉士 養成課程での学びの特徴③

- ★ 地域の中で、役割を担って学ぶ機会の重視
- ★ “こころネットみはらまつり” への参加



まつりの様子



今日の授業のポイント



- ★ 大きなストレスに直面すると、普段は当たり前にできていることに難しさが生じることがあります。これは、誰もが直面する可能性のあることです。
- ★ ソーシャルワーカーは、様々な生活上の困難を抱えた人に対して相談援助を行う専門職です。困難を抱えた本人や家族から話を聴き、生活を支える支援をしていきます。
- ★ ソーシャルワーカーは、支援者間の連携にもとづく支援と、地域の中でお互いに支え合える関係づくりや相談しやすい仕組みづくりを進めます。

「社会福祉学を学ぼう」

学んで得られる！ 幅広い力

日本社会福祉学会
作成のパンフレット

支援する力

個人の尊厳を重視し支援する

当事者の立場に立って、問題を抱える人たちの尊厳を守り、ただ助けるのではなく、自分たちの意思と力で自分らしく生きていけるように支援します。

分析する力

生活問題を発見し、普遍化する

さまざまな人々の多様な価値観を理解した上で、生活問題のニーズを発見し、それを社会との関係で分析し、社会共通の課題に普遍化します。

調整する力

社会資源を調整・開発する

地域の「見守り」やネットワークの在り方などを学び、社会資源を調整して、一人ひとりの問題を解決するとともに、新しい社会資源の開発に取り組みます。

運営する力

社会福祉の運営に貢献する

社会福祉の組織が持つ権限、情報、人員、財源などの構成要素を学び、効果的かつ効率的な社会福祉の運営に貢献します。

擁護する力

権利を擁護する

生活問題に直面している人たちの権利を擁護するシステムについて現状と課題を把握し、サービス利用の支援者としての役割を担います。

創る力

個人の力を高め社会を開発する

一方的な援助ではなく、一人ひとりの生きる力や社会的役割を果たす力を高める方策を常に考え、より力強い社会を創る能力を培います。

「社会福祉学を学ぼう」

日本社会福祉学会
作成のパンフレット

福祉施設 事業所

高齢者や障害者、児童など
へ福祉サービスを提供

独立型 社会福祉士

地域を基盤として独立した
立場で相談援助に従事

病院

必要な医療を受け、
自分らしい生活を送るため
の支援

行政

多様化する課題への対応と
施策づくり、行政サービス
の提供

一般企業

様々な市場の需要に対応し、
人々の暮らしを豊かにする
仕事

教育

子どもに寄り添い、育ちや
学びの環境を整える

学んだ力が実となって、
さまざまな現場で活躍できる！

雇用

一般雇用の難しい人々も
含めて、多様な働き方と
自立の在り方を探る

司法

法的な視点から、さまざ
まな人々の権利擁護や
社会復帰を支援

社会的起業

さまざまな社会問題の改善
を図る事業を通じ、社会に
貢献する

NPO・NGO

公共性の高い独自の福祉
活動や国際協力への貢献

マスコミ

社会の問題を発見し、伝える
コミュニケーションスキル
の応用

災害

ボランティアの調整や、
被災した人々の生活再建と
復興の街づくりを
支援

地域

住民の結びつきを深め、地域
力を高める支え合いや
交流活動を促進

是非、人間福祉学科へ！

★ 学科の詳細は、ホームページをご覧ください！

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/>

学科パンフレット、「学科紹介動画」、「4年生による学生生活紹介動画」などを作成し、掲載しています。

県立広島大学 保健福祉学部
人間福祉学科

高度な専門職育成とグローバルな人材育成
人間福祉学科では、水準の高い福祉を実現するための理論や実践的技法を修得し、地域の保健・医療・福祉分野のリーダーとして活躍できる**社会福祉士(ソーシャルワーカー)**と**精神保健福祉士(精神科ソーシャルワーカー)**の育成を目指しています。

2つの国家資格を目指します

社会福祉士 (ソーシャルワーカー)
「社会福祉士及び介護福祉士法」に定められた**国家資格**です。生活を送るうえで課題を抱えた方々に対して、専門的知識や技術を用いて相談に応じ、助言、指導を行う仕事です。福祉サービスを提供したり、医療をはじめとした関係者と連携して支援しています。

精神保健福祉士 (精神科ソーシャルワーカー)
精神保健福祉士は、1997年に誕生した精神保健福祉領域の**国家資格**です。精神疾患によって生活上の様々な困難を抱えた方々に対して、専門的知識や技術を用いて相談に応じ、援助、指導、訓練などの支援を行うことが仕事です。

**人間福祉学科の特徴②
専門教員の充実**

現場実習や卒業論文指導は、専門分野に分かれ、少人数ゼミできめ細やかに対応しています。

卒業研究ゼミの様子

人間福祉学科を紹介します(平成28年度入学者用)
Prefectural University of Hiroshima

是非、人間福祉学科へ！！

ホームページへ！
www.pu-hiroshima.ac.jp/

人間福祉学科での学生生活を紹介します
県立広島大学 (Prefectural University of Hiroshima)